

穂積加工株式会社
(第37期)

貸借対照表

(2024年3月31日現在)

科 目	金額	科 目	金額
<資産の部>	千円	<負債の部>	千円
【流 動 資 産】	153,156	【流 動 負 債】	99,797
原材料及び貯蔵品	10,200	未払金	7,432
前払費用	5,477	未払費用	43,554
		未払消費税等	14,408
		未払法人税等	3,392
短期貸付金	97,783	預り金	458
立替金	39,697	賞与引当金	30,554
		【固 定 負 債】	
【固 定 資 産】	11,903	負 債 計	99,797
(有形固定資産)		<純資産の部>	
建物		【株主資本】	10,000
車両及び運搬具		(資本金)	10,000
工具器具及び備品			
リース資産		【利益剰余金】	55,263
		(その他利益剰余金)	55,263
(投資その他資産)	11,903	繰越利益剰余金	55,263
繰延税金資産	11,903		
		純 資 産 計	65,263
資 産 合 計	165,060	負 債 ・ 純 資 産 合 計	165,060

注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示している。

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 棚卸資産

貯蔵品……総平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産（リース資産を除く）……定額法

(2) 無形固定資産（リース資産を除く）

ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法

その他の無形固定資産は定額法

(3) リース資産……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3. 収益及び費用の計上基準

当社は、建築材料の加工を主な事業としている。加工業務の履行については、月初から月末までの加工業務の遂行によって役務提供が完了することにより、当社の履行義務が充足されると判断しているため、提供する期間にわたって収益を認識している。

なお、業務の請負における対価は、締切当月に回収しており、重要な金融要素は含んでいない。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用している。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当該事業年度の末日における発行済株式の総数

普通株式

140株

(関連当事者との取引に関する注記)

親会社及び法人主要株主等

属性	会社名	当該株式会社 の議決権等の 所有割合	当該関連 当事者の 議決権等の 所有割合	科目	期末残高 (円)
親会社	旭化成（株）		間接100%	短期貸付金	97,782,528
				立替金	281,200
	旭化成建材（株）		直接100%	立替金	39,388,817

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項なし。

(収益認識に関する注記)

収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りである。